

News release  
25 February 2014

## ソチ2014パラリンピック冬季競技大会へ オットーボックの修理技術サービスの 一員として日本人スタッフが参加

オットーボック社がパラリンピック大会で修理技術サービスを初めて提供してから12回目となるソチ大会に参加する28名のサービスチームの一員として、オットーボック・ジャパンから車いすエンジニアの中島浩貴が参加します。パラリンピックにおいて選手の使用する機器のメンテナンス、修理サービスは必要不可欠なものであり、オットーボックのサービスは参加選手から信頼されています。

Quality for life

ソチ2014パラリンピック冬季競技大会において、競技に参加するパラリンピアンが使用する機器のメンテナンス、修理は極めて重要なサービスです。

今回、世界11ヶ国から召集された義肢装具士、車いすエンジニアからなる28名の修理技術サービスチームに、日本からは弊社モビリティソリューション事業部の中島浩貴が、北京とロンドンに引続き、車いすエンジニアとして参加します。パラリンピアンが使用する機器の修理、メンテナンスサービスは競技が開始される前から実施されるため、中島を含めた修理技術サービスのメンバーは既に体勢を整えています。

「パラリンピックでは、最高の舞台を作るために選手もサポートスタッフもそれぞれベストを尽くします。全世界から参加するパラリンピアンと共にその一員になれることは非常にうれしいことです。また、パラリンピックでは幾つかの予期せぬトラブルも起こります。私達サービスチームが一丸となって、それらを解決していくことは、非常に価値のある経験となります。パラリンピックでは全ての選手が最高のパフォーマンスを発揮できるように全力でサポートしていきたいと思います。」と日本から参加する中島は語っています。

オットーボック社はソチ2014パラリンピック冬季競技大会の修理技術サービスのオフィシャルプロバイダーとして、2ヶ所のパラリンピック村、アルペンスキー、クロスカントリースキー/バイアスロン、アイススレッジホッケー会場に修理ワークショップを設営し、修理サービスを提供します。

オットーボック社がパラリンピックムーブメントの中心的存在としてサービスに携わるようになってから25年が経ちました。パラリンピック競技大会のパートナーとしては最も長くサービスを提供しています。今回のソチ大会においても、1988年のソウル大会から培ってきた修理技術サービスの経験を活かし、参加選手に対し貢献できることをお約束します。パラリンピック大会における修理サービスは、自動車レースにおけるメカニックにも例えることができ、パラリンピアンが使用する機器のメンテナンスや修理を実施し、一刻も早く選手が競技会場に戻れるようにするための責任を担っています。

修理ワークショップは、競技大会が始まる1週間前にあたる3月1日からオープンします。ソチに到着した参加選手は、競技前の重要な最終準備として、使用する機器をオットーボ

ックの修理サービスチームにチェックしてもらうことができます。この最終準備の中には、開会式のセレモニーで車いすを使用する旗手の車いすに国旗を受けるポール受けを取付けることも含まれています。

また、激しいぶつかりにより機器が損傷し、多くの修理サービスの発生が予測されるアイススレッジホッケーなどの競技に備え、オットーボックのチームには溶接の専門家も配属されています。

「競技が始まる直前はいつもとても忙しいのです。今回の大会は12回目となり、私たちもそのことを良く判っているので、準備段階から多くの選手が来場することを想定して既に準備を整えています」とオットーボックの修理サービスチームのテクニカルダイレクター、ピーター・フランツェルは語っています。また、「パラリンピックでの弊社の修理サービスは昨年25周年を迎えましたが、どの大会でも新たなことに全力で取り組んできました。今回もまた、多くのパラリンピアンに対し、クオリティの高い修理サービスを提供するとともに、運動機能に制限のある人々のために研究開発してきたオットーボックの革新的な技術や製品を提供できることを心待ちにしています」とも述べています。

## ソチ大会における修理技術サービスの概要と過去の実績

- マウンテンクラスター（山岳エリア）とコースタルクラスター（沿岸エリア）の2ヶ所のパラリンピック村、およびアルペンスキー、クロスカントリースキー／バイアスロン、アイススレッジホッケーの3会場に修理サービスワークショップを設営し、サービスを提供します。
- ワークショップ開設後には、47ヶ国から参加する600名のパラリンピアンだけでなく、パラリンピックファミリーに対しても、24時間、無休でサービスを提供します。
- 28名の義肢装具士、車いす技術者、溶接の専門家が修理サービスに従事。技術者はカナダ、ブラジル、韓国、日本、英国、アメリカ、オランダ、ベルギー、ドイツ、レバノン、スイスから参加します。
- ワークショップには9トンにもおよぶ修理設備機器が設置され、いかなるメーカーの製品にも対応できるように11,000個の修理用のパーツを備えています。
- 1988年のソウル大会からパラリンピックのパートナーとして修理技術サービスの提供を開始し、今までに約12,000件の修理を実施してきました。



### 写真：

オットーボック社は、ソチ2014パラリンピック冬季競技大会のオフィシャル修理サービスプロバイダーに任命されました。3月7日の競技開始に向けて、2ヶ所のパラリンピック村と3ヶ所の競技会場の修理ワークショップが3月1日からオープンします。オットーボックがパラリンピックにおける修理サービスを提供するのは今回で12回目になります。

写真の左は日本から参加する中島浩貴

## オットーボック社について：

オットーボックヘルスケア社（オットーボック社）は運動機能を制限された人々がモビリティを取戻し、自立を再発見できるようサポートするための、高品質、革新的、および実用的なソリューションを提供する世界的なリーディングカンパニーです。オットーボック社は1919年にドイツで設立され、今日では全世界にあるグループ会社により、高品質の義肢、装具製品、車いすやリハビリテーション製品、モビリティ製品を、義肢装具の製作施設、代理店、病院などを通して提供しています。

オットーボック・ジャパン株式会社は1999年に設立され、オットーボックグループの一員として、高い目的意識と技術を持ったチームにより、ドイツ本社同様、お客様にとって最適なソリューションを提供するために活動しています。

オットーボック社の目的は最新の技術、革新的な製品とサービスでお客様が最良の結果を得られるようサポートすることです。

オットーボック社は、ソチ2014パラリンピック冬季競技大会における義肢、装具、車いすの修理技術サービスを提供するオフィシャルプロバイダーに任命されました。オットーボック社は障害を持った人々のスポーツやリクリエーションの普及に30年以上も務めてまいりました。パラリンピックには1988年から参加し、2005年からはパラリンピックムーブメントのワールドワイドパートナーになっています。詳細は下記をご覧ください。

オットーボック・ジャパン パラリンピックWEBサイト：[www.paralympics.ottobock.jp](http://www.paralympics.ottobock.jp)

オットーボック社 パラリンピックWEBサイト：[www.ottobock.com/paralympics](http://www.ottobock.com/paralympics)

## 更なる情報、写真提供、パラリンピックでの取材に関する問い合わせ先：

日本の窓口にご連絡をいただけましたら、ソチの現地スタッフと連絡をとり、取材の予約などのご協力をさせていただきます。

### 【日本の窓口】

オットーボック・ジャパン（株）  
コミュニケーション  
赤松、樋詰、佐竹  
TEL: 03-3798-2113  
E-Mail: [ottobock@ottobock.co.jp](mailto:ottobock@ottobock.co.jp)

### 【現地窓口】

Or onsite at the Sochi 2014 Winter  
Paralympic Games:  
Anna Parisi  
Director, Paralympic Marketing and PR  
T: +44 (0)7584 162563  
E: [anna.parsi@ottobock.com](mailto:anna.parsi@ottobock.com)